

住み続けたいまちづくりを推進

子育て支援・生きがい支援整備を促進

9月定例会議

9月定例会議は、9月6日から13日までの8日間の日程で行われました。冒頭、鈴木町長が4期目の再任に当たって所信表明を行いました。町長から提出された議案は、30年度会計の決算認定のほか元年度補正予算など14件が提出され、全議員の賛成で原案どおり『決定』しました。一般質問では3人の議員が登壇し、町の対応や考えをいただきました。



江刈デイサービスセンターを訪問する五日市保育園児

決算の概要

前年度より支出1割減

30年度の全会計の総支出額は、76億4598万円。前年度比10億9794万円、12.6%減少しました。

一般会計の支出額は、64億2633万円。前年度比8億543万円、11.1%の減少です。養護老人ホーム葛葉荘改築事業の終了や新病院改築事業終了による病院会計への繰り出しの減少などが主な要因です。

3特別会計の支出総額は、12億1965万円。前年度比2億9251万円、19.3%減少しました。

町の課題解決として「高校生までの医療費無料」、「保育料の軽減」な

どで子育て世代の支援環境、「高齢者外出支援事業」、「高齢者見守り支援事業」などいつまでも安心して住み続けられる安全対策、「山村留学生制度」、「公営塾」などで将来の町を担う人材育成の場を整備しました。

地域の活性化を支援

監査委員の意見

30年度決算はすべての会計が黒字です。各種財政指標は堅調であり、財政運営の健全性が確保されています。固定資産税や町民税などの普通税と国保税の未収金は270万円減少しており、職員の徴収に対する創意工夫

町長4期目の所信を表明

夢を実現(かたち)に



鈴木町長

4期目の町政運営は、「魅力あふれる『まちづくり』」、「光り輝く『まちづくり』」、「元気に満ちた『しごとづくり』」の三つの挑戦を軸に、夢を実現(かたち)にするため「ひと・地域・資源」を活かし、「一歩先行くまちづくり」に果敢に挑戦します。

次代を担う人材の育成と確保のため、就学前教育の充実、児童生徒の国際理解・情報・キャリア教育の充実にも努めるほか、山村留学制度を推進して葛巻高校の1学年2学級を維持し、学習塾での学力量向上に取り組めます。基幹産業の新たな展開と発展を目指すため、新葛巻型酪農構想を推進し、雇用を創出できる経営体の育成に努め、森林環境譲与税を活用した森林資源循環の取り組みを推進します。

町の資源を活用した観光交流促進のため、くずまき型DMO事業による特産品の開発や体験型の観光を推進し、トヨタとの包括連携協定で町の魅力を積極的に発信し、誘客促進につなげます。

の成果が表れています。定住対策のほか、山村留学生寄宿舎整備など葛巻高校の存続支援による地域の活力維持、地区公民館整備による自治会活動の支援、町道茶屋場田子線の進捗など町民が幸せを実感できる町づくりを推進しています。

財政健全化判断比率は「健全」を維持

「財政健全化法」に基づく30年度の一般会計、特別会計、第3セクターなどの決算を含めた各指標は、いずれも基準を下回りました。

30年度決算状況

会計名	収入	支出	
一般会計	72億2120万円	64億2633万円	
特別会計	国民健康保険事業	9億7515万円	9億4618万円
	農業集落排水事業	2億925万円	1億9995万円
	後期高齢者医療事業	7799万円	7352万円
合計	84億8359万円	76億4598万円	

健全化判断比率

各指標	30年度	29年度	比較
実質赤字比率 (15%)	赤字なし	赤字なし	-
連結実質赤字比率 (20%)	赤字なし	赤字なし	-
実質公債費比率 (25%)	6.3%	5.4%	0.9
将来負担比率 (350%)	16.2%	なし	皆増

※各指標の()内の%は早期健全化の基準で、数値が低いほど健全な財政運営になります。